

44 口銀谷の景観を守り、育て、受け継ぐ

【き】 景観形成地区への指定

「口銀谷の町並みづくり」は、元々「地域づくり生野塾」の第1期の取り組みの一つでした。

平成11年に口銀谷地区が県の景観形成地区に指定されたのをきっかけに、より幅広い人の参加を求め、生野塾から独立する形で「口銀谷の町並みをつくる会」が発足しました。

【概】 町並みの保存と景観を将来へ受け継ぐための活動

口銀谷の町並みを保存するのはもちろん、新しい景観形成も含め、未来へ受け継いでいくための調査活動と啓発活動に取り組んでいます。

その成果を町民に広く伝えるため、年4回機関紙「町並みづくりニュース 燻銀^{いぶしぎん}」を発行し、全戸配布しています。また、毎年3月に「生野景観まちづくりシンポジウム」を開き、その年の調査活動の成果などを報告しています。

【成】 景観を守ろうという意識の高まり

活動を始めて今年で6年目を迎えました。シンポジウムにたくさんの方が来てくれるなど、これまでの活動を通じて、景観を守ろうという意識が、地域の人たちの間にも浸透してきました。

【夢】 伝統的な景観を守り続けたい

地域住民みんなで力を合わせ、伝統的な建物をできるだけ保存し、未来へ伝えたいと思っています。また、新しい建物もできるだけ今の景観にふさわしいものとしたいと考えています。



改修事例の見学

口銀谷の町並みをつくる会

代表者氏名:今井常雄
活動地域:生野町口銀谷地区
事務所等:朝来市生野町口銀谷640
井筒屋内
電話番号:079-679-4448
FAX番号:079-679-4448
ホームページ:<http://www7.ocn.ne.jp/~ikuno/sub3.htm>

活用した支援

地域づくり活動応援事業(兵庫県)



全国組織に加盟して、全国の団体と交流

平成14年に全国町並み保存連盟に加入しました。

平成15年3月15日、16日に開催した「第4回生野景観まちづくりシンポジウム」では、同連盟を通じて知り合えた、同じ鉱山町である島根県大田市石見銀山の方たちをお招きし、「日本の2大銀山のコラボレーション」ということで町内外で大きな話題になり、会場は150人を超える参加者でにぎわいました。

同じ志を持つ人や団体が集まる組織への加入によって、全国の団体と交流を育むきっかけになりました。



活動拠点には、協働でつくった施設を活用

平成15年、「生野まちづくり工房井筒屋」という活動拠点がオープンしました。これは、平成11年に吉川家から土地、建物等一式を生野町が寄贈を受けたことから、井筒屋再生ワークショップを開催して、町と住民が一緒になって改修整備したものです。江戸時代の様式そのままの建物で、町並みをつくる会はもとより、いろいろな町づくり団体や一般町民の交流の場として利用しています。我々の会も井筒屋の改修に参画・協働していたので、活用させていただいています。



石見銀山の方たちとの交流

読者の皆さんへのメッセージ

口銀谷の町並みは、生野銀山とともに発展し、他の町にはないユニークな点が多いことが特徴です。この町並みをご覧ください、また、お互いに交流して意見交換を行いたいと思っています。